

郷野地区 振興会だより

発行 NO.27号
平成29年12月26日
発行 広報部
郷野地区
世帯数 532戸
人口 1201人
平成29年4月1日現在

友愛訪問



12月4日(月) 毎年恒例行事となっている友愛弁当を、振興会女性部の役員を中心に2日かかり15人で作りました。4年生の児童と一緒に各地区の男性役員10人が子供たちからのメッセージを添えたお弁当を持って今年の対象者108人の家をまわりました。渡す子供も受け取るお年寄りの方もとてもいい笑顔で無事に終えることができました。

11月16日(木) 体育館でのジャンボ巻き寿司大会は、児童52人などで作った30mのジャンボ巻き寿司を一斉に持ち上げると、大きな歓声があがり、仲間と一緒に作った満足感が見られました。児童が育てたお米、野菜を使用し保護者の作った豚汁での会食は心温まるものとなり、一層美味しく味わうことができました。

ジャンボ巻き寿司作り



3社のテレビ取材があり当日放映がされました

水辺の楽校・アユのつかみ取り



整備された水辺

アユのつかみ取り
五年 船本 琉生
漁協振興会のみなさんへ
今日は暑い中アユのつかみ取りをさせていただきありがとうございます。ヌルヌルしていてなかなかつかめなかつたけど三ひきつかまえましたのでよかったです。つかまえたアユもすぐおいしかったです。野菜おむすびやそうめんもおいしかったです。あと来年だけなのでまた来たいです。来年はもっととりたいたいです。今日は本当にありがとうございました。



民踊披露

9月17日(日)は台風による警報が発令されていました。そのためいろいろと心配されましたが、敬老者254名のうち100名という予定されていたほとんどの参加者を迎えて敬老会は開催されました。例年のように式典で始まり、アトラクションでは予定されていた小学校、保育園、マリimba演奏の発表が中止されたことは大変残念でした。しかし郷野の芸人達による民踊、フラダンス、詩吟、みんなで楽しむリズム体操、ひょっこり踊りなど多彩な芸の発表で盛り上がり、好評のうちに閉会となりました。

祝 敬老会



フラダンスに見入る皆様!!



銭太鼓を演じる皆さん

10月22日(日) 前日の天気予報では台風21号の上陸ということで、恒例のバザーはテントの設置は強風による事故等の心配もあり、温かいうどん販売も中止となり残念でした。文化祭の展示コーナーでは工芸品、書道、絵画など力作がそろい、午後からの舞台では踊り、フラダンス、銭太鼓、詩吟、カラオケ等、日頃の成果を発表されました。又、午前中に行われた小学校の学習発表会に引き続き児童も最後の演目の「広島ジュニアマリimbaアンサンブル」まで鑑賞し意義深い文化祭となりました。



作品展示の一部様子

郷野地区文化祭 第十三回

郷野小学校統合に関する現状

郷野地区振興会 会長 平田 武幸

郷野小学校は、郷野地区の小学校として明治9年に誕生し、これまで郷野小学校の呼び名、学校の位置など変わっていますが、今年で142年を迎えています。現在の小学校は昭和10年に建築され修繕、補修され現在に至っています。社会的現象である、少子高齢化社会を迎え、郷野小学校においても少子化の影響を受け児童が減少し総児童数は52名で、以後毎年減少傾向にあります。

統合への経過と協議

平成21年6月 教育長から学校規模適正化委員会に諮問

平成22年4月 学校規模適正化委員会から適正な学校規模について答申

平成23年1月 学校規模適正化推進本部が推進計画を策定

平成26年6月 可愛・郷野地区統合準備委員会発足

郷野振興会では、平成23年安芸高田市から説明を受け、以後3回にわたり郷野地区全体の説明会を実施し意見交換を行いました。郷野振興会役員会、保護者、学校等協議を随時行ったところです。

保育園保護者会、小学校保護者会の意見等を充分踏まえ、可愛小学校と郷野小学校が対等に統合し新しい活力のある魅力ある新しい小学校を目指した取り組みを行っています。

これまで統合準備委員会では総務部会・教育振興部会・学校史編纂部会の三部会で望むべき学校教育の充実に向け協議を進めています。

統合準備委員会では、基本たるべき次の3項目の審議が終了し、平成28年7月28日に基本合意として小学校統合に関する基本協定書に署名を行いました。

(1)統合の期日は「平成31年4月1日」とする。

(2)統合校の名称は「愛郷小学校」とする。

(3)統合校の位置については「現在の可愛小学校である安芸高田市吉田町山手1165番地3」とする。

今後、引き続き校舎の教室等改修を含め教育環境の充実を図ることや、児童の通学手段の安全確保、スクールバスの運行、校章や校歌選定など具体的な協議を進めていきます。

統合後の跡地問題について安芸高田市としては

(ア)校舎は活用する予定はなく原則として解体撤去する。ただし、地域での校舎跡地活用に利用については、振興会へ活用を委ねる。

(イ)体育館とグラウンドについては、地域の生涯学習活動施設等として社会体育・地域活動・災害対策・避難場所として活用が見込まれるものは当面維持することになっています。

郷野振興会役員会では校舎を活用する場合には

①耐震に満たない補強工事費の負担(概算 1億円程度)

②事業を閉鎖した場合の校舎解体費用の負担(概算 4,500万円程度)

③木造校舎建築82年経過の老朽化の現状、補修費用の負担(外壁の損傷など)

④駐車場の確保(グラウンドは社会体育で使用)

⑤安定した運営ができるか(振興会役員を中心・他の団体を含め)

⑥水洗便所等通常の維持管理や施設管理費の負担

結論として諸問題を解決することが必要であり、統合後校舎を適切に活用することが出来ないことについて、安芸高田市役所に報告致しました。

市役所(教育委員会)としては、地域からの意見を踏まえ関係部署と連携し検討を進めたいと回答を受けております。

又、他の有志の活動として、郷野小学校の存続活用に向けて「郷野小学校再生プロジェクト」の皆さんは今年11月から12月にかけて郷野地域内7か所の集合施設で「郷野小学校の未来を語ろう」を開催され、皆さんとの意見交換会やアンケートも実施されていることを報告しておきます。



春 新緑に覆われた校舎



秋 夕日に映える校舎



冬 雪化粧の校舎